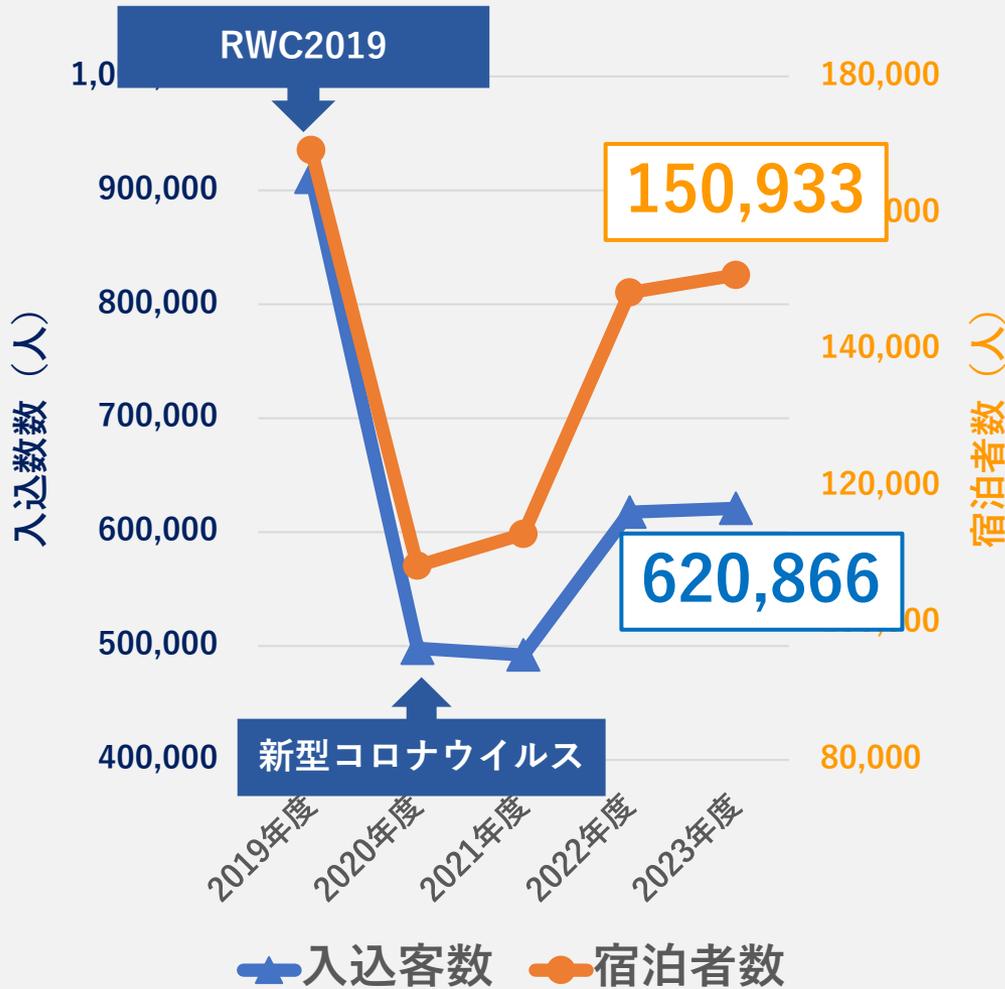




# 釜石市観光来訪調査2024年春期

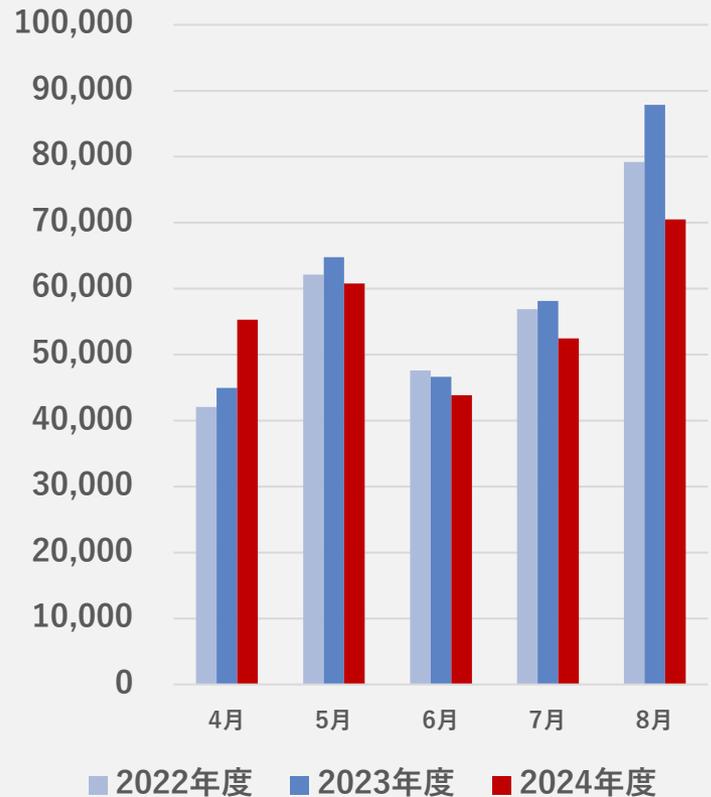
# 入込客数と宿泊者数【速報】

## 年度別（2019年度～2023年度）



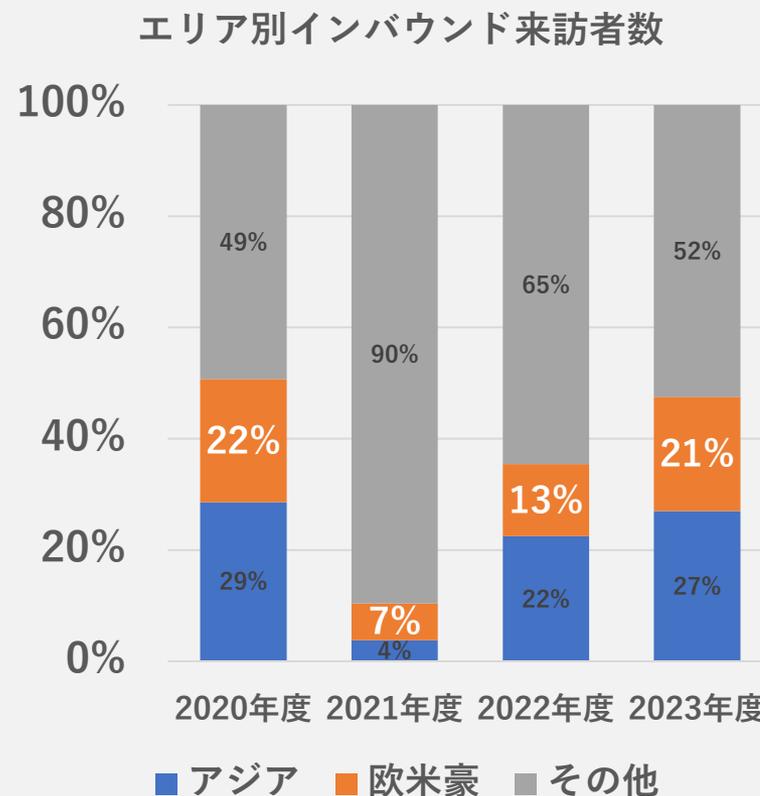
## 月別（2022年度～2024年度）

今年度は、天候不良により花火大会等のイベントが中止になり、来訪者減  
⇒引き続き、来訪者の平準化を強化



# インバウンド来訪者数（R2年度～R5年度）

コロナ禍後、インバウンド来訪者は、大幅に増加している。さらに、欧米豪の来訪者が特に増加し、インバウンド来訪者数に占める割合が高まっている。



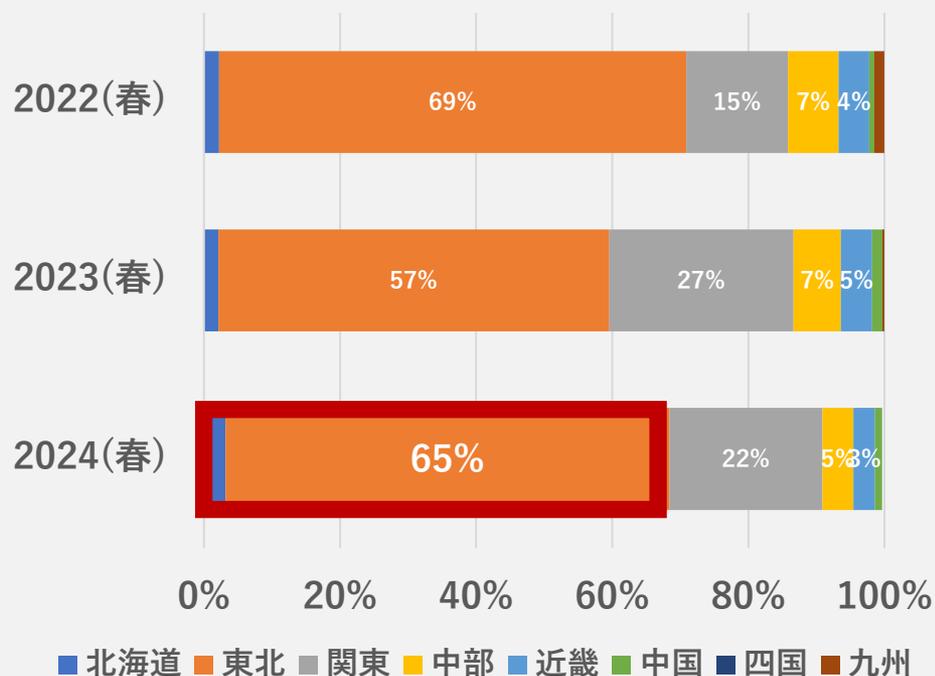
# 調査概要

調査対象	釜石市内外からの訪問者
調査場所	<ul style="list-style-type: none"> <li>・魚河岸テラス</li> <li>・いのちをつなぐ未来館</li> <li>・根浜キャンプ場</li> <li>・橋野鉄鉱山インフォメーションセンター</li> <li>・旧釜石鉱山事務所</li> <li>・シープラザ釜石</li> <li>・鉄の歴史館</li> </ul>
調査日	2024年4月27日～6月30日
回収数	285サンプル
調査手法	調査票配布による自記式調査
比較対象	2022年4月29日～7月10日 205サンプル
	2023年4月29日～7月23日 333サンプル

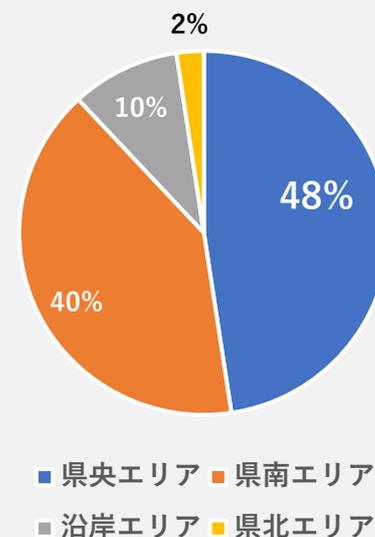


# 出発地

➡東北エリアからの来訪者が最多

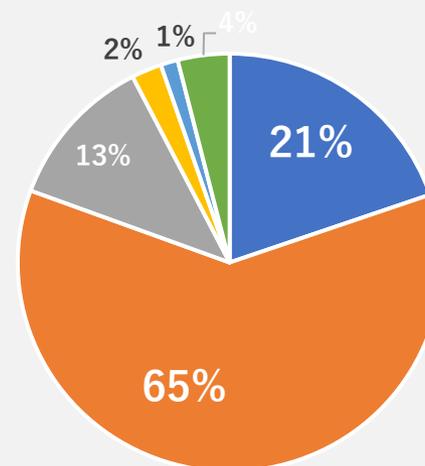
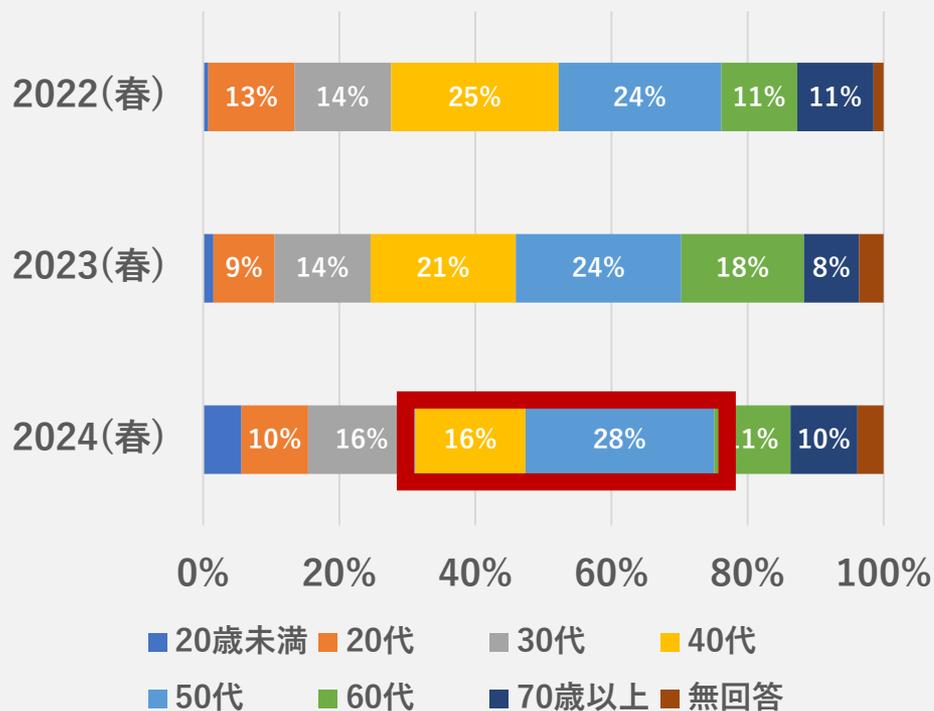


岩手県内からの来訪は、約半数が県央エリア



# 年代/同行者

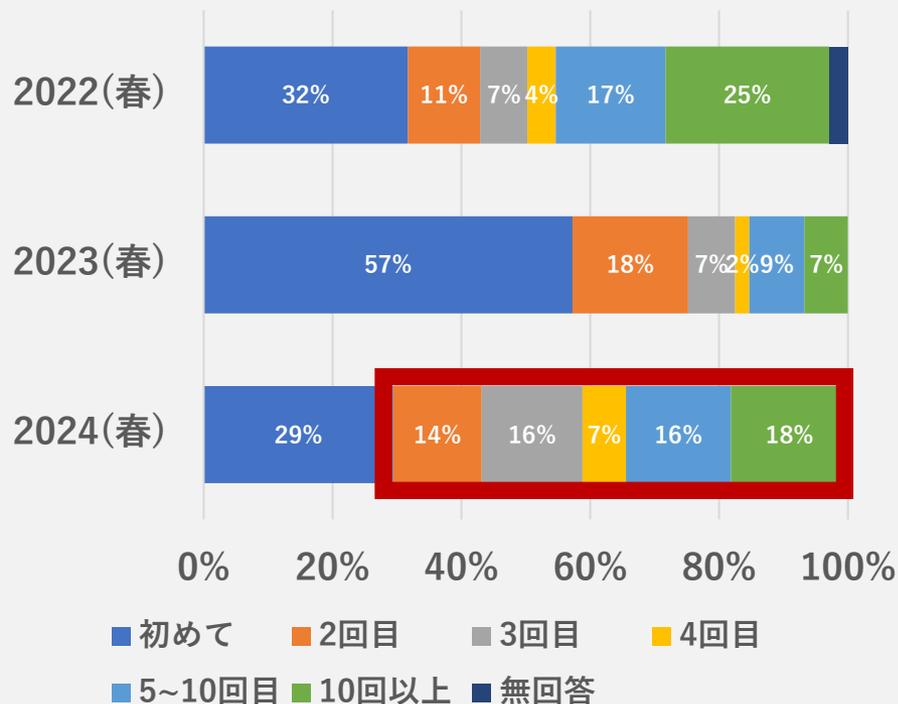
➡40代・50代の家族での来訪が多い



# リピート率

## ➔リピーターの割合が増加

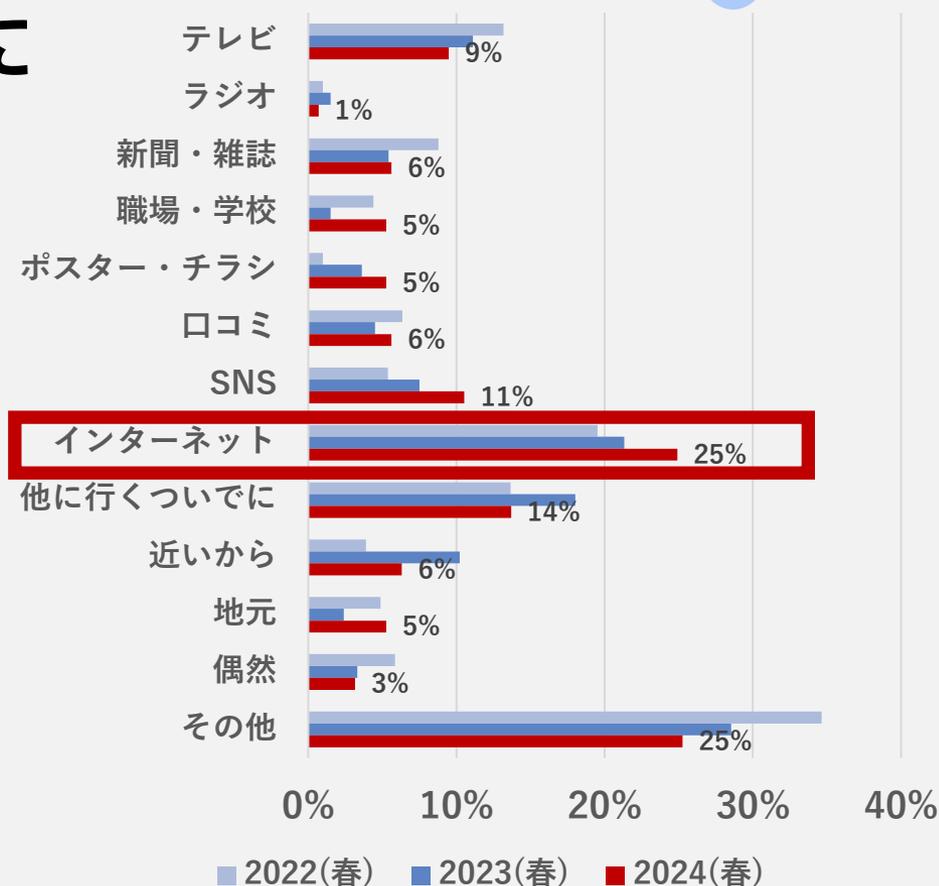
- **リピート率（来訪回数が2回目以上）は71%であり、前年度より大きく増加**  
 （2023:54% ⇒ 2024:71%）
- **来訪回数が5回以上のハードリピート率は引き続き高い**  
 （2023:31% ⇒ 2024:34%）



# 来訪のきっかけ

## ➡インターネットがきっかけによる来訪がさらに増加

- 来訪のきっかけは、  
 1位：インターネット（25%）  
 2位：その他（25%）  
 3位：他に行くついでに（14%）
- 「他に行くついでに」の来訪も引き続き多く、複数地域を巡る旅行の立寄り
- 「職場・学校」での来訪が増加しており、『学び』を目的とした来訪が増加（2023:2% ⇒ 2024:5%）



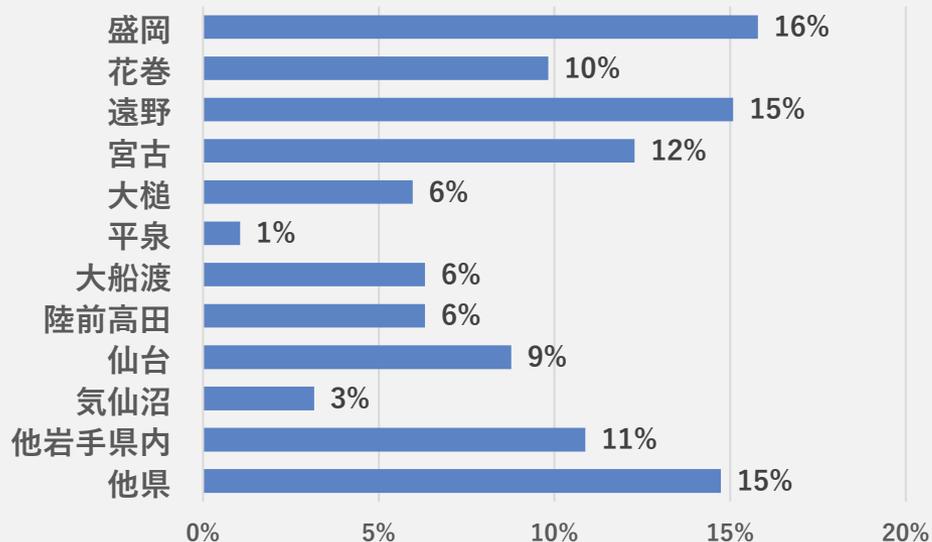
（回答数285名のうち、各項目に対する回答者数（複数回答））

# 経由地

## <釜石まで>

- ・42%が岩手県内陸主要エリアから
- ・31%が岩手県沿岸エリアから

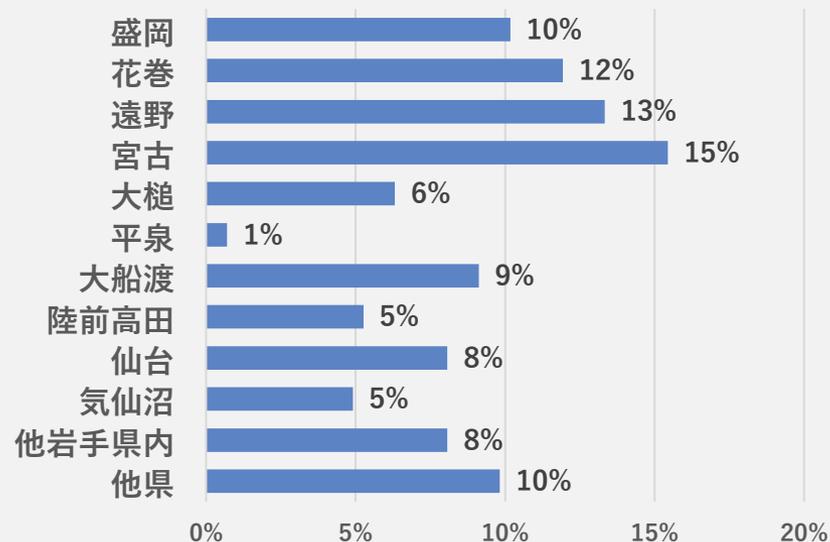
【釜石までの経由地】



## <釜石から>

- ・36%が岩手県内陸主要エリアへ
- ・36%が岩手県沿岸エリアへ

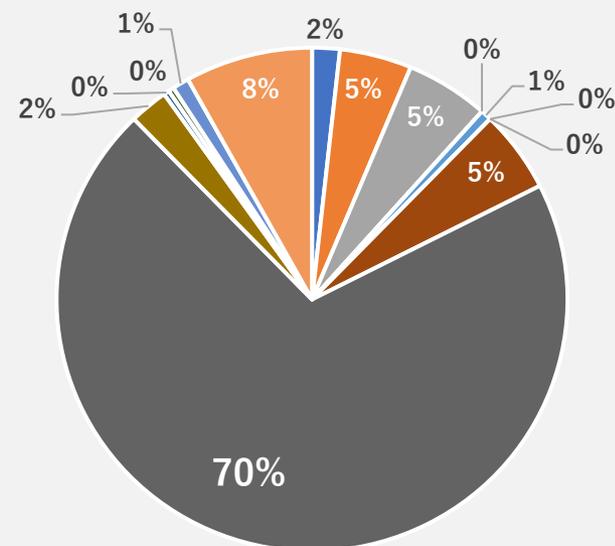
【釜石からの立寄り地】



# 釜石までの交通手段

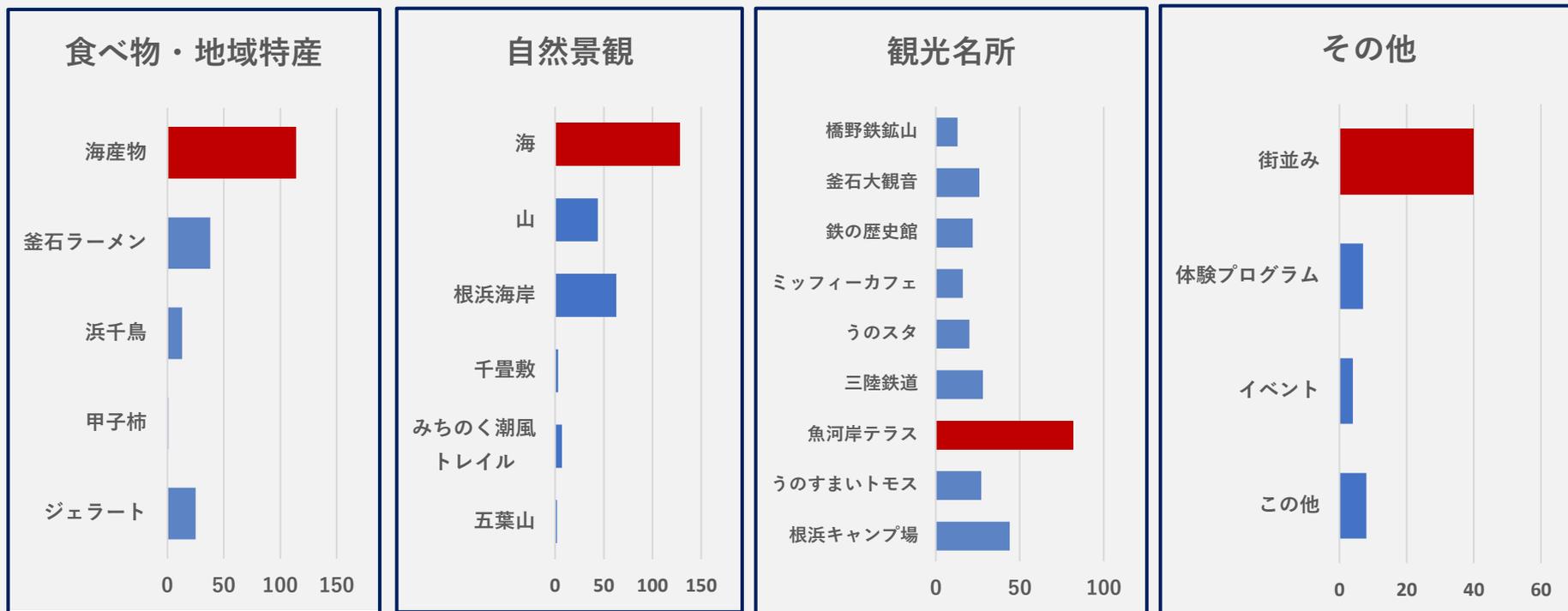
## ➡車での来訪が大多数

- 交通手段は、
  - 1位：**自家用車 (70%)**
  - 2位：JR釜石線 (5%)  
三陸鉄道 (5%)  
レンタカー (5%)
- 三陸鉄道での来訪が増加  
(2023:3%⇒2024:5%)



# 来訪目当て

➡釜石への来訪者の目当ては、前年に引き続き、「海」、「海産物」、「魚河岸テラス」が多い。  
また、「街並み」を目的とした来訪も引き続き多い。

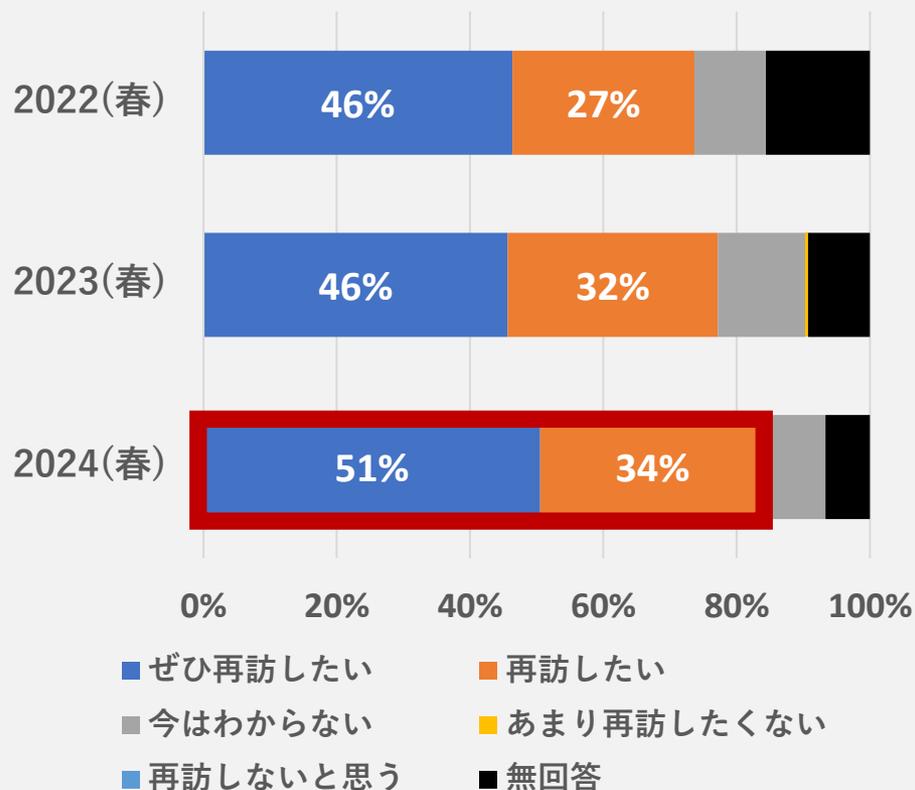


(回答者285名のうち、各項目に対する回答者数(複数回答))

# 再来訪意欲度

## ➡引き続き高い水準で推移

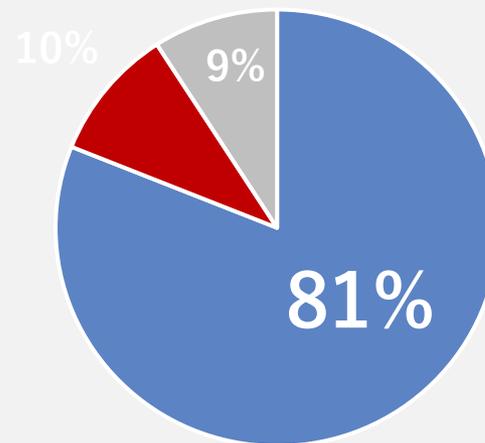
- 「再訪したい」以上は80%であり、前年に続き、高いまま推移  
(2023:78% ⇒ 2024:84%)
- 「再訪したい」から「ぜひ再訪したい」観光客を増やしていくため、より魅力的かつ満足度の高い施策を進めていく



# 来訪者の サステナブル・ツーリズムに対する意識

- 約80%以上の釜石への来訪者が、環境や地域への配慮を持って、旅行をする意識を持っている。
- 地域そのものを感じる旅行、環境など学びにつながる旅行が、釜石へのさらなる誘客へ。

Q.釜石の来訪にあたり、サステナブルな旅を心がけたいですか。



■ はい ■ いいえ ■ 無回答

※サステナブルな旅とは、環境や地域に密着した旅行と定義して質問